

# 遠野

市議会だより | NO. 12  
2008.7.17



## まこやが・さんぽ

### 松崎保育園

今年も4・5歳児を対象にキッズサッカー教室が始まりました。「サッカー」「一輪車」「鬼ごっこ」など、お友達と一緒に体を動かして遊ぶことが大好きな松崎っ子!

丈夫な体を作り、将来は『Jリーグ』の選手と『なでしこジャパン』を目指します。がんばるぞ「オーッ!!」

(多田 弘園長)

### 主な内容

4月臨時会  
6月定例会

- JAとおのが財産を寄附
- ふるさと納税制度スタート
- 遠野北小校舎大規模改造工事はじまる

発行:遠野市議会



▲定例会では4人の議員が一般質問を行った

## 4月臨時会

平成20年第2回臨時会が4月23日に開催され、下記議案を原案のとおり承認及び可決しました。

その中の平成20年度遠野市一般会計補正予算（第1号）では、遠野地方農業協同組合からの財産の寄附に伴う農林水産業費に関わり、寄附財産の利活用策や農業・畜産振興について活発な質疑が交わされました。

### 議案

- 平成19年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 岩手縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手縣市町村総合事務組合規約の一部変更の協議の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成20年度遠野市一般会計補正予算（第1号）

## 6月定例会

平成20年第3回定例会を6月6日から6月11日まで6日間開催しました。

今定例会では、提案された専決処分2件、条例1件、その他3件の全議案6件を原案どおり承認及び可決したほか、請願4件を可決し、1件を継続審査としました。

### 議案

- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成20年度遠野市老人保健特別会計補正予算（第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野北小学校校舎大規模改造（建築）工事の請負契約の締結について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の変更について

## 中心市街地に路側駐車帯の設置を



菊池 民彌 議員

**【質問】** 中心市街地の県道・市道に路側駐車帯を設け、買物客の利便性を図ることができないか。

**【市長】** 買物客が不便を感じていることは指摘されている。地元商店街の意向を確認し検討をしたい。

**【質問】** 中心市街地のシャッターを活用し、絵を描いて、来訪者への一服の清涼剤にしてはどうか。

**【市長】** 女性のワークショップの中でも、シャッターに絵を描いてはとのアイデアが出されたが、閉まり続けることを認めることになるとの否定的意見がある。シャッターを開け、「花のギャラリー」などとして活用すべきとの意見であったが、考えようでは抱き合わせの取り組みも良いのではと思っている。

**【質問】** 大府市との友好都市締結を望むがどうか。

**【市長】** 大災害発生時における相互応援協定を締結したところである。市民レベルの交流の中から実績をつくり、大府市の意向を踏まえ考えていく。

**【質問】** ふるさと納税制度が、本年1月1日から適用されることとなった。寄附者は、個人でも団体でも良いか。寄附者の制度の恩典や獲得戦略と寄附金の活用や謝礼は。

**【市長】** 寄附者は個人のみ、恩典として寄附金額5千円を超える部分について、一定限度額まで居住地の自治体の住民税が税額控除される。戦略は、ふるさと納税制度と「で・くらす遠野」市民制度が相乗効果を得る仕組みを検討中。寄附金は、遠野スタイル創造事業に活用したい。謝礼等については、検討中である。

**【質問】** 準用河川赤羽根川を年次計画で整備を望む。

**【市長】** 仙人道路等の供用開始で、降雨の際に路面等からの出水が多い。改修を必要と理解している。当面、川幅を確保し、堆積土砂の多いところから河道掘削を進める。



▲一日市商店街

## CO<sub>2</sub>削減の取り組みについて



照井 文雄 議員

**〔質問〕** 各環境団体の努力や、ゴミの分別や減量化が進み、効果が見え始めてきているが、今後の取り組みや展開については。

**〔市長〕** 市では平成15年より昼食時の消灯、室内温度の抑制、ノー残業デーなどの取り組みを実施した。

その結果ある程度の効果が見えたが、IT機器の増設

などで電気量の微増があり、課題となっている。19年3月「遠野市地球温暖化対策実行計画書」を策定し、取り組みをしている。今後は清養園クリーンセンターをゴミの分別資源化、1家庭1エコ運動などの省エネルギーを考えるための環境学習拠点施設と位置付けながら、環境フロンティア遠野などの市民団体の活動を支援し、ゴミの削減やCO<sub>2</sub>の削減に努めてゆく。

**〔質問〕** 地震災害の市の活動体制はどのようなものか、公共施設の耐震診断や、木造住宅の耐震改修の取り組みは。

**〔市長〕** 災害時においては、公助にも限界があることから、特にも初期対応については、消防団員や54の行政区にある自主防災組織等と共に協力しあって、被害を最小限に食い止める。これらの組織は地域の中にあつて、「自助」「共助」の役割が大きな力を発揮すると考えている。「自分たちの地域は自分たちで守る」という連携意識を持ち、安心安全で住みよいまちづくりに向け、防災リーダーの育成、研修訓練等を重ね、災害に備えた組織体制の確立を図る。耐震診断は昭和56年以前の建物が対象であることから、調査を実施した結果、倒壊の可能性が高い建物がほとんどであった。特にも学校は、児童生徒の安全はもとより、市民の避難所として利用される施設であることから耐震補強や、改築を計画的に進めていく。市では「耐震改修促進計画」の策定に組み木造住宅や公共施設の耐震性の確保に取り組んでいるところである。

## 生活に身近な緊急課題の中から共に考える



菊池 巳喜男 議員

**〔質問〕** 遠野市では、既存住宅での火災警報器設置義務化は来年5月末となっているが、高齢者宅の対策はどのようなになっているか。

**〔市長〕** 遠野市老人日常生活給付等実施要綱に基づき、警報器を平成18年度から450世帯に設置し、今年度は綾織・小友・青笹・上郷町の200世帯を設置予定している。

**〔質問〕** 明るい家庭を支える健康な体づくりから考える時、岩手県では脳卒中は全国最悪と聞かすが、遠野市の実態と予防を浸透させていく方策はどうなっているのか。

**〔市長〕** 市の脳卒中死亡率は、県平均を下回っているものの、全国平均よりは上回っている。生活習慣見直しが重要の中で、組織の協働により健康診断受診勧奨、食生活改善、運動の普及推進に取り組んでいる。

**〔質問〕** 長寿(後期高齢者)医療制度がスタートし、全国的に混乱を巻き起こしているが、市民が理解できるよう周知徹底が図られているか。

**〔市長〕** 制度運営は広域連合で当り、遠野市では地区別・各種団体に説明会、遠野テレビによるお知らせ、電話対応でも展開してきた。今後も、高齢者の医療を継続的に保障できるよう制度の根幹を堅持すべきと考えるが、必要な意見・要望を述べ、更に理解を得られていくものにした。

**〔質問〕** 遠野市林業対策の森林整備はどうなっているか。

**〔市長〕** 間伐事業で、森林整備事業に市として22%上積みし、90%の補助率としている。この事業に該当しない高齢級間伐には、市単独で90%を補助して事業を促進し、間伐材搬出作業にも補助を実施、昨年度の間伐面積は52haとなっている。植林については、国庫事業で68%の補助率となっているが、森林への関心、意欲が減退し造林が少ない状況下である。しかし、環境に果たす役割は重要であり、間伐等の推進を優先に取り組んでいる。



▲移動環境啓発車の作業

## 食料自給率向上を



新田 勝見 議員

**【質問】**世界的にみれば人口の増加により食糧がひっ迫しているといわれ8億人の人々が飢餓状態にあります。今までのように強い購買力によって海外の食糧をどんどん輸入できる状況にないと思う。今こそ国内の自給率向上と日本農業を守っていくことが大切である。我が遠野市においても、家族中心の農家と最近

における営農組合のような組織体による農業経営とがある。経営形態別による支援策を取るべきと思うがどうか。

**【市長】**集落営農連絡協議会を軸に十分話し合いをし、打開策を見い出したい。また、個人支援は、農家等によく足を運び声を吸い上げ、対応したい。

**【質問】**今後優良農地の確保と担い手の育成が最も重要と考えられるが、農業委員会長の考えを伺う。

**【会長】**過去5年間で80haの農地が減少している。主なものは、植林、宅地、店舗等の用地が多い。担い手育成については、認定農業者の掘り起し、家族協定の推進、農業者年金の加入推進等、担い手の確保を行っていく。

**【質問】**中学校再編の答申が出され、3校4パターンが示されたが、地域に学校がなくなる地域のさびしさ、郷土に誇りを持つための芸能文化を含めた地域の関わりがうすれてくるのではないか。また、今後の再編取り組みの、スケジュールについて問う。

**【教育長】**地域から中学生がいなくなるわけではないので行政、学校、保護者、地域連携で知恵と工夫を出し合い、地域の伝統の継承を大切にする遠野らしい中学校再編は、可能だと考えている。7～9月には計画原案の説明会の開催、10～12月には計画の作成、説明会、平成21年1～3月にかけて、計画の教育委員会決定、市議会説明、そして、各地域、PTAへの説明会の開催をする。



▲営農組合による加工トマト

## 予算等審査特別委員会 6月10日

予算等審査特別委員会(議長を除く21人の議員で構成、委員長萩野茂男議員、副委員長織笠孝之議員)は、専決処分2件、条例1件、その他3件の6議案について付託を受けて審議を行いました。その結果、全6議案が原案のとおり承認及び可決されました。

### 後期高齢者医療制度に伴う 国保税の軽減措置について

**【質問】**条例案のなかでいう「特定世帯」とは、どのような世帯か。

**【答弁】**世帯の中に後期高齢者医療制度に移行された方がいて、その結果残った方が国保の単身世帯となった世帯をいう。

**【質問】**特定世帯の国保税の軽減措置が5年間となっているがその後の軽減措置はないのか。

**【答弁】**5年以後については対象外となる。

**【質問】**5年で軽減措置がなくなれば、それ以後に該当する方々の負担が増えるのではないか。

**【答弁】**該当する世帯への軽減措置が5年ということではなく、それ以後も軽減措置は継続されるものである。

### 免税対象牛 長期継続を

**【質問】**肉用牛に対する税制について、3ヶ年の延長となっているが、昭和57年から続いているものであり、今後も長く継続すべきと思うが。

**【答弁】**この制度は、肉用牛の増頭をはかるために行なっているもので今回は単純延長で3年となった。

**【質問】**免税対象飼育牛とはなにか。

**【答弁】**市場において1頭100万円未満で販売した肉用牛である。肉用牛を売却した場合に所得税と市県民税は免除されるが国保税は課税される。ただし、個人で2,000頭以上飼養している農家は対象にはならない。



ふるさと納税の  
効果は

**【質問】** 当市の住み良さ全国ランキングは。

**【答弁】** 全国ランキング 619 位で、県内 13 市中 8 番である。この調査の内容は、安心度、利便度、快適度、富裕度、住居充実度等、生活環境が目安となっている。

**【質問】** 「で・くらす遠野」と、「ふるさと納税」との関係は。

**【答弁】** 「で・くらす遠野」は、遠野に興味を持つ全国の遠野ファンの方々や「心のつながり」を持ち続ける制度である。単なる物産会員ではなく、「心のこもった情報と品物」を通し会員との交流を深めることが目的となっている。また当市を故郷に持つ方や、遠野のまちづくりに興味を持つ方々が、当市の為に寄附を寄せていただくのが「ふるさと納税」である。遠野市の為に、この二つの制度の相乗的な効果を期待するものである。

市道路線の  
認定について

**【質問】** 駒木地区のほ場整備の完了により認定する市道 2 路線の延長を確認をしたい。

**【答弁】** 今回の 2 路線は中村前田線の延長 205 m 幅員は 4 m で、福泉寺前線は 443 m 幅員は 4 m である。

**【質問】** 駒木地区ほ場整備は 13 年度で完了しているがこのように路線認定が遅れた理由はなにか。

**【答弁】** ほ場整備は農地が優先で、最終地区面積は市へ道路が移管になるように農林センターで工事や登記の事務を進めている。今回移管になる文書は 4 月 9 日付けで頂いた。

今年度にも他のほ場も順調に進めば移管になる見込みである。

市政調査会研修報告



▲日本所で説明を受ける

遠野市政調査会では、5 月 16 日（金）に平成 20 年度 5 月例会を開催し、議員 19 名が遠野地方農業協同組合からの財産寄附施設の現地調査を実施しました。

寄附施設 17 施設のうち、牧場を除く、遠野駅前の本所を皮切りに遠野・綾織・小友・附馬牛・青笹・達曾部の各店、広域牛舎、堆肥センター、種雄牛センター等市内の寄附施設の実態を見てまわりました。

その中で、維持管理の掛かる施設、改修が必要な施設、地元や団体等で活用可能な施設等がありました。

これから市として、地域住民や各種機関・団体との協議を進めながら、利活用方法について検討をし、施設を活かした市や地域の農業振興等地域活性化の拠点施設として、最善の有効利活用策を見出して欲しい。

（菊池 邦夫会長）



▲堆肥センター

議員談話室

4 年前の事になるが、5 月の連休に同級生が突然訪ねてきた。愛知県大府市で市議会議員をしているとの事で、大府市長の強い意向もあり遠野市さんと災害に備えての協定を結べないかというものであった。私も、その重要性に共鳴し一般質問で取り上げたり、議会間の視察交流等も実施した。本年 2 月 1 日に本田市長が訪問し調印が行なわれた。

6 月 14 日（土）岩手・宮城内陸地震と命名される大災害が発生した。行政は、いざという時のために備えなければならない。岩手県全域を見渡した場合、三陸沿岸の後方支援基地として遠野の防災拠点計画の重要性が増している。一致協力して実現したい。

（石橋 達八議員）

常任委員会等の活動

- 議員全員協議会（5 月 23 日開催）
  - ・遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 総務常任委員会（5 月 23 日開催）
  - ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律について
  - ・遠野市公共工事の入札に係る総合評価制度の導入の取組状況について

## 請願審査報告

今定例会には5件の請願が提出され、教育民生及び産業建設両常任委員会に審査付託されました。各常任委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

- **タクシー事業の規制緩和の見直しを求める請願**  
 請願者 岩手県タクシー協会釜石支部 支部長 根本知司 他2名  
 審議結果 継続審査
- **学級編成基準・教職員定数の改善、専任司書教諭の配置を求める請願**  
 請願者 岩手県教職員組合遠野支部 支部長 高橋俊明  
 審議結果 採択
- **義務教育費国庫負担制度の堅持及び国負担率の2分の1への復元、教育予算の拡充を求める請願**  
 請願者 岩手県教職員組合遠野支部 支部長 高橋俊明  
 審議結果 採択
- **国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める請願**  
 請願者 林野労組遠野支署分会 執行委員長 桐田清信  
 審議結果 採択
- **ミニマムアクセス米の輸入を停止し再生産できる米価を求める請願**  
 請願者 遠野市農民組合 代表者 阿部喜一  
 審議結果 採択

## 議員発議案

今定例会には、5件の発議案が提出され、4件を原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおりです。

- **学級編成基準・教職員定数の改善、専任司書教諭の配置を求める意見書**
- **義務教育費国庫負担制度の堅持及び国負担率の2分の1への復元、教育予算の拡充を求める意見書**
- **国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書**
- **ミニマムアクセス米の輸入を停止し再生産できる米価を求める意見書**



## わたしの ひとこと

### 若者も楽しめる 遠野へ

佐々木 美智恵さん  
(松崎町)

私は5年前、盛岡の専門学校に2年間通っていました。初めて遠野を出て感じた事は、盛岡には若い人達がたくさんいて、若い人達向けにつくられた娯楽施設があるということです。ちょっとした事ですが、私はびっくりしました。

遠野は高齢者がたくさん住んでいるので高齢者向けの施設が多いのはとても良い事だと思います。しかしその反面、若い人達、特に20代の人達が遊んだり買い物したりする施設が全くというほど無いのが現実です。私以外にも同じ考えを持っている人がいるかと思っています。遠野市は自然豊かでとても良い町です。だからこそこの世代にも住みやすい環境が欲しいものです。

将来はこの自然豊かな遠野で結婚してたくさんの赤ちゃんを産んで、その生まれてきた子供にも遠野の良さを教えてあげたいです。

## 9月定例会の予定

- ◆定例会は9月12日(金)開会の予定です。  
詳しくは議会事務局まで。
- 議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。  
議会事務局62-2111(内線271)  
gikai@city.tono.iwate.jp

## 編集 後記

中国四川の大地震の報道が止まぬうち、岩手・宮城内陸地震が発生、連日の報道に耳を傾けることとなった。災害は忘れた頃にやってくると言うが、100年以上前の地震の再到来と聞く。亡くなられた多くの方々に対しご冥福をお祈りすると共に、行方不明者の早期発見と早急な復興を願ってやまない。

今度の定例会は、専決処分、市税条例改正など6件のみであり4日間で終幕となったが、物足りなさを感じたのは、小生のみならず市民も同様ではなかっただろうか。

一方で、市職員の不幸事が発覚した。遠野市政始まって以来の大不祥事と言わざるを得ない。信頼回復は大変であるが、こういうときこそ市職員が一丸となって、原因究明と今後の未然防止策をしっかりと確立してもらわなければならない。

(瀧澤)